

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋大学教育学部附属中・高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒464 -8601
愛知県名古屋市千種区不老町
 E-mail : _____
 Website : <http://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp/Joomla/>
 児童生徒数：男子 _____ 名 女子 _____ 名 合計 _____ 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

総合人間科計画(総合的な学習の時間)

(中学1年生)

テーマ 「生き方を探るⅠ」 サブテーマ 総合人間科の基礎を身につけよう！

- ・持続可能な開発のための教育(E S D)との関わり

自分で未来を創るために必要な具体的な手段(たとえば身近な人から初対面の人への出会いを広げていく)を知り、これを1年かけてじっくりと学べればよいと考えている。総合人間科を6年間学ぶための基本的なスキルの習得を目指す。学校で学ぶ教養や他人との関わりあいながら、自己決定する経験を積ませ、自分の生き方について能動的に考える力が身につくことを目標とする。

(中学2年生)

テーマ 「生命と環境Ⅰ」 サブテーマ 「環境問題って一体なんなんだ!?!」

- ・持続可能な開発のための教育(E S D)との関わり

ESDの基本的な考え方である「環境教育」「エネルギー教育」「国際理解教育」「世界遺産教育」「防災教育」のどの部分にも通じる内容である。

(中学3年生)

テーマ 「国際理解と平和Ⅰ」 サブテーマ 仮説・検証・考察

- ・持続可能な開発のための教育(E S D)との関わり

原爆による被害を受けた国として、同じことが繰り返されないよう、広く世界に働きかけていく必要がある。生涯を通して国際理解・平和に関心を持ち、主体的に考えていけるよう、現段階での小さな興味を、個人やグループで大きな問題へと発展させ、考えの深化を経験させたい。

(高校1年生)

テーマ 「生命と環境Ⅱ」 サブテーマ 「なぜ」を掘り下げる

- ・「持続可能な開発のための教育(E S D)との関わり

林間学校の機会等を通じて、「生命と環境」についての興味関心を深める。また、個人テーマを各自選択し、研究・FWによって「生命と環境」のテーマの下に自分の興味関心・問題意識を掘り下げていく。仮説的な個人テーマを設定しそれを検証する形で、理解を深め研究の質を向上させる。個人テーマとつながりのあるメンバーとのグループを構成して研究を進めることなどにより生徒間の交流を深め、新たな学年としての融合性を高める

ポスターセッションなどの形で自己の研究を発表することで、プレゼンテーション能力を高める。また他のクラスメートの研究発表を聞くことで、「生命と環境」についての理解を深める。

(高校2年生)

テーマ 「国際理解と平和」

サブテーマ ぬーやいびーが?自ら問いかけて考える沖縄

- ・「持続可能な開発のための教育」(E S D)との関わり

沖縄の諸問題(本州とは異なる沖縄の歴史的位置・戦争の問題・米軍基地問題・自然破壊問題など)は、現在の国際社会が抱える諸問題の縮図と言える。沖縄の諸問題を自分たちにつながる問題と認識し、その解決策を探ろうとする今年度の学習はE S Dという点でも意義のあることだと思われる。

(高校3年生)

テーマ 「生き方を探る」

